

事業計画及び成長可能性に関する事項

2025年9月期



株式会社キャリア（証券コード：6198）

CAREER

これからの社会に新しいライフスタイルを。

目次

- 01 | 会社概要
- 02 | 事業内容
- 03 | 当社ビジネスを取り巻く環境
- 04 | 当社の特徴と優位性
- 05 | 財務情報
- 06 | 成長戦略と進捗状況
- 07 | リスク情報

会社概要

会社情報

設立 **2009年**

従業員数※1 **295名**

株式会社キャリア: 279名
連結子会社: 16名

経営陣※2

代表取締役会長兼社長 川嶋 一郎
取締役 蒲原 翔太
取締役 竹上 雅彦
社外取締役 池田 優太郎
社外取締役(監査等委員) 岩見 和磨
社外取締役(監査等委員) 館 充保
社外取締役(監査等委員) 山本 和成

財務指標

売上高※3 **149億円**

営業利益※3 **△9百万円**

売上高CAGR※4 **4.8%**

※1: 2025年9月30日実績(臨時雇用者は含まない)

※2: 2025年9月30日現在

※3: 2025年9月期実績

※4: 2019年9月期から2025年9月期の年平均成長率



MISSION

“ 目指す世界 ”

いくつになってもイキイキ暮らせる社会を

VISION

“ 実現する事 ”

高齢化社会をアップデート

VALUE

“ 大切にする価値観 ”

自分らしく 変化を楽しむ

成長と当事者意識 ビジネスの力で社会貢献

我々はあらゆる判断、行動において企業理念を大切にし、
ステークホルダーの皆様と共に社会貢献して参ります。

目次

- 01 | 会社概要
- 02 | 事業内容
- 03 | 当社ビジネスを取り巻く環境
- 04 | 当社の特徴と優位性
- 05 | 財務情報
- 06 | 成長戦略と進捗状況
- 07 | リスク情報

事業内容

日本では高齢化社会が進行しており、人材市場においては、労働人口の減少、介護市場での人手不足は大きな課題
「Career」は、2つの課題に人材サービスで応える**高齢化社会型人材サービス企業**

看護・介護・保育における有資格者と施設とのマッチング提案



シニア特性や業務フロー分析に基づいたシニア就労の提案



※2025年9月期実績

©2025 Career Group. All Rights Reserved.



当社が担う社会的責任

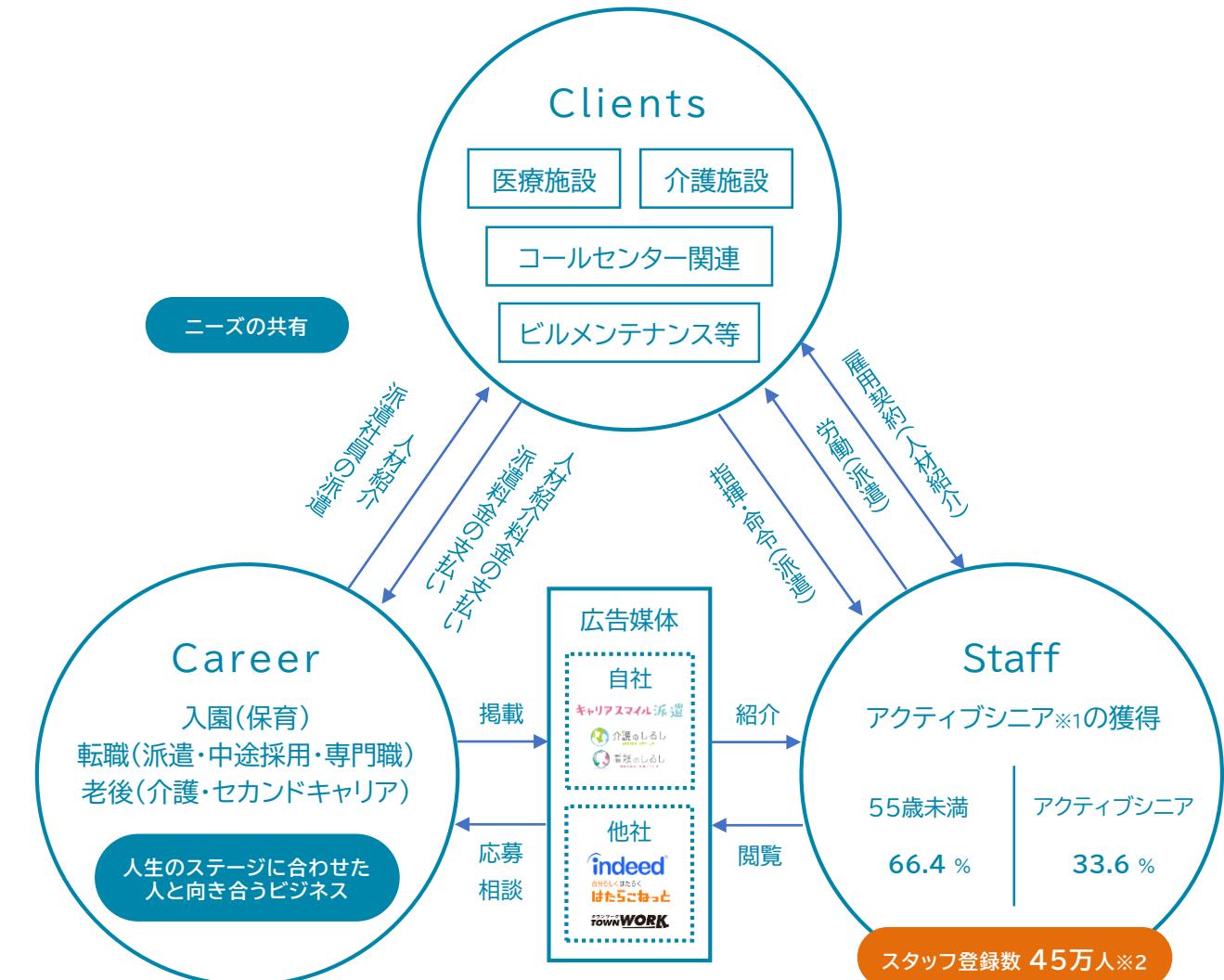
**労働人口の減少、
医療・介護市場の人材不足、
人材サービスで課題解決。**

Employment opportunities for the elderly

シニアと親和性の高い当社のクライアントを拡充することで、シニア就業機会を創出

Solving labor shortage

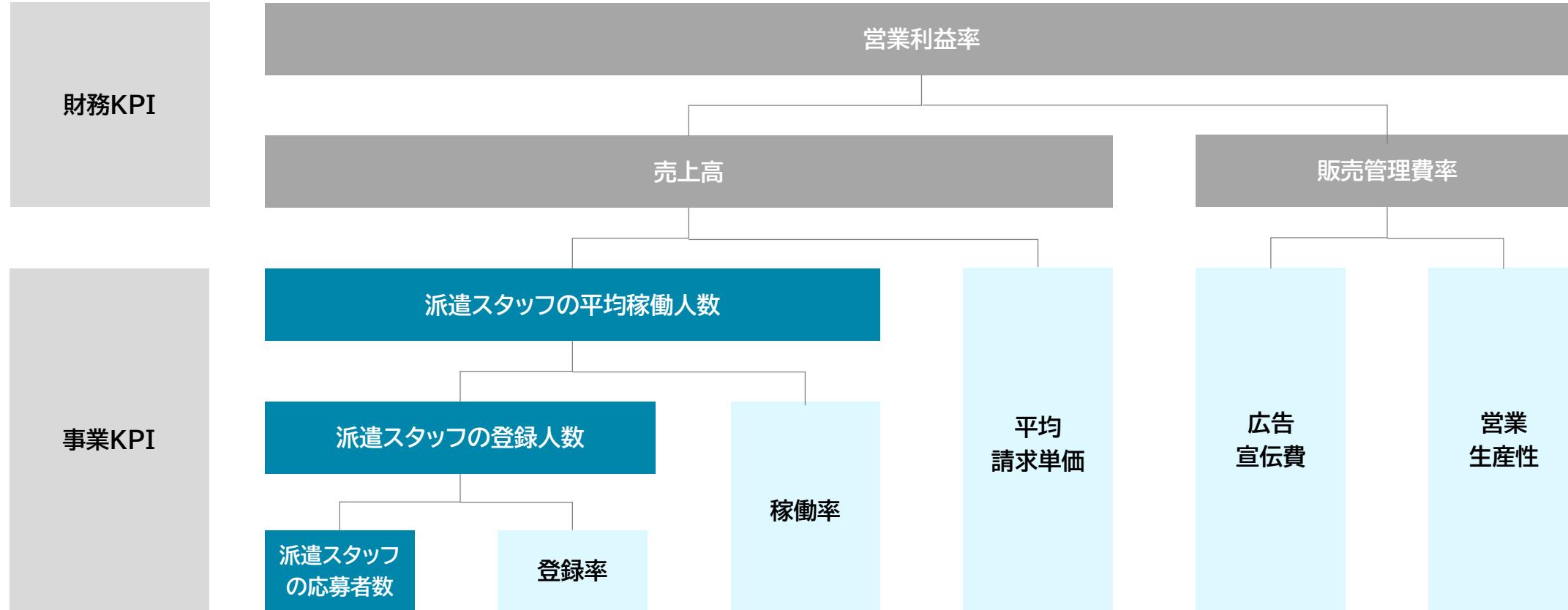
COVID-19などのパンデミックのような突発的な医療・介護人材の不足発生時においても、社会的使命をもって対応できる体制を構築



※1 当社では、55歳以上の働く意欲のある人を「アクティブラジニア」と定義している

※2 2025年9月30日現在

CAREER 人材派遣事業における財務KPIと事業KPIの構造

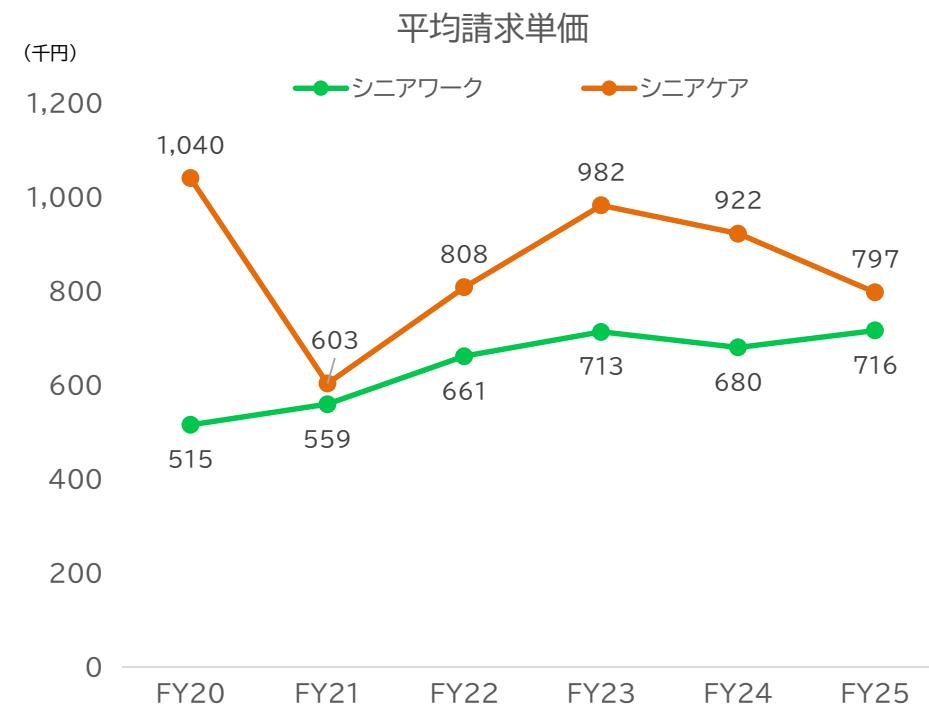
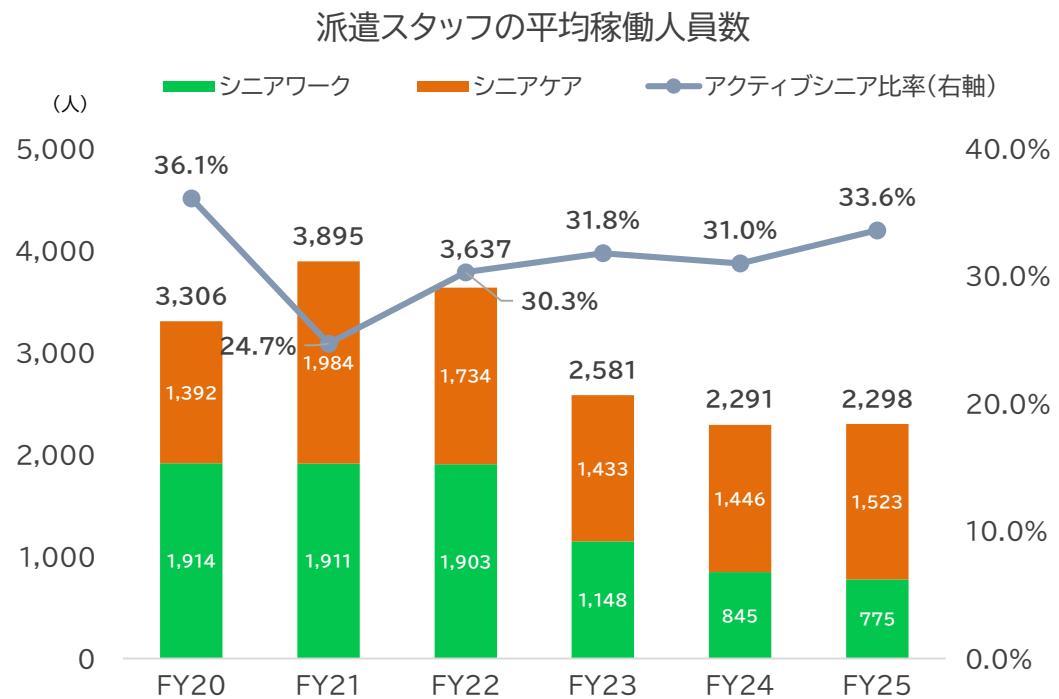


バリューチェーンの付加価値向上

生産性の向上

CAREER 主要KPIの推移

コロナ発生時にはアクティブシニア比率及び平均請求単価は落ち込むも、徐々に戻ってきており、現在アクティブシニア比率は**33.6%** 派遣スタッフの稼働人員数が減少傾向にあるが、クライアント先に対して今後は平均請求単価の交渉を働きかけ、上昇を狙う。



※1:直近3ヶ月の月間総稼働人数の移動平均

※2:直近3ヶ月の売上÷(※1)=1人あたりの平均請求単価

※3:5歳以上の月間総稼働人数の移動平均

シニアケア事業①



高齢化社会のもう一つの課題医療・福祉市場への人材提供

増え続ける介護施設

要介護者の増加に伴い、介護施設は毎年のように増加しています。それでも、実際の需要には追いつかず、入所できない要介護者が増えており、今後さらに介護施設の増加が期待される。

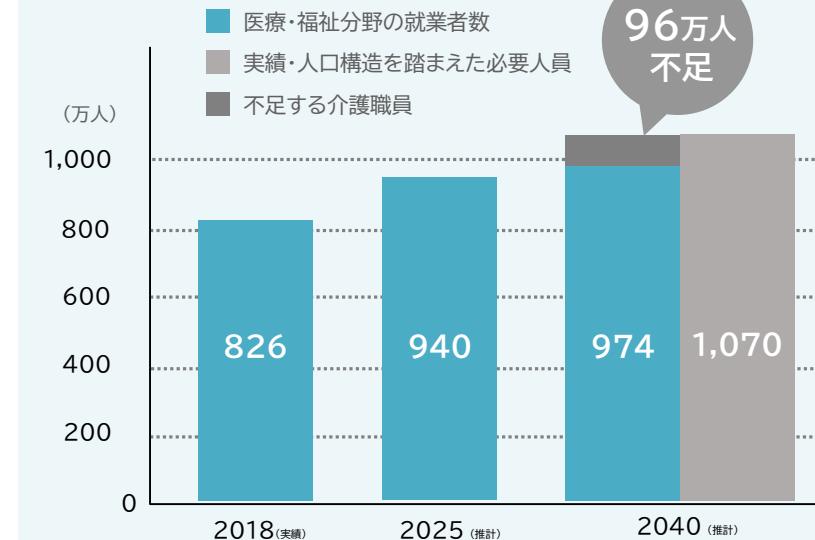
加速度的に不足する介護職員

もともと有効求人倍率の高い介護職員ですが、年々増える介護施設の需要に追いつかず、介護施設における人手不足は加速度的に厳しくなり、**当社のような人材サービスの必要性**が高まっている。

呼ばれる2040年問題

「2040年問題」とは、少子高齢化が進展した結果、日本の人口に対して高齢者が占める割合が36.2%に達し、介護、医療等の社会保障の急増が懸念される問題です。総就業者数の5人に1人は医療・福祉分野で就業する必要があると推測されている。

経済成長と労働参加が進むと仮定するケースでも
2040(令和22)年には
医療・福祉分野の就業者数が96万人不足する見込み

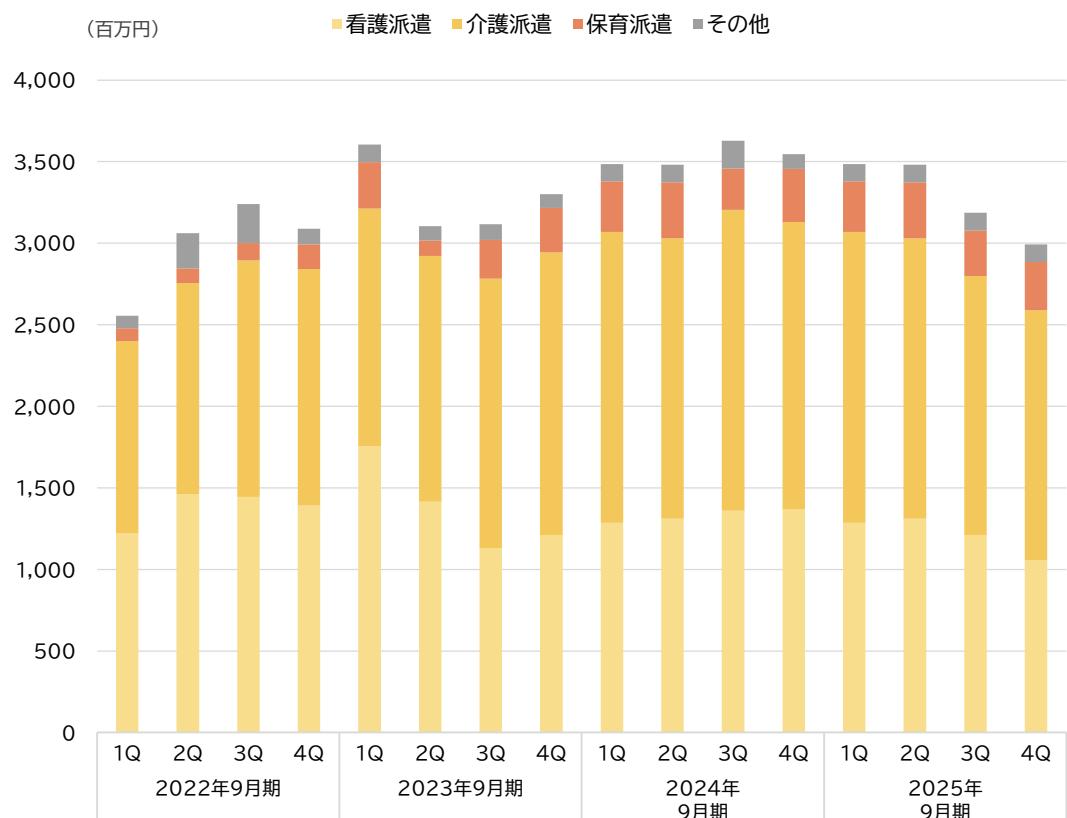


出典:厚生労働省
「令和4年版 厚生労働白書(令和3年度厚生労働行政年次報告)」

シニアケア事業②



2025年9月期売上高:12,622百万円（前期実績14,144百万円:前期比89.2%）



(人)

全国拠点数 : 24拠点 (2025年9月末現在)

出店コンセプト: 人材不足に悩む介護施設が設立されている全国を出店エリア。

クライアント区分	有資格者
入所型介護施設	
在宅型介護施設	看護師、介護士、ホームヘルパー
医療施設	

シニアワーク事業①



人生100年時代の“働きかた”を支援する

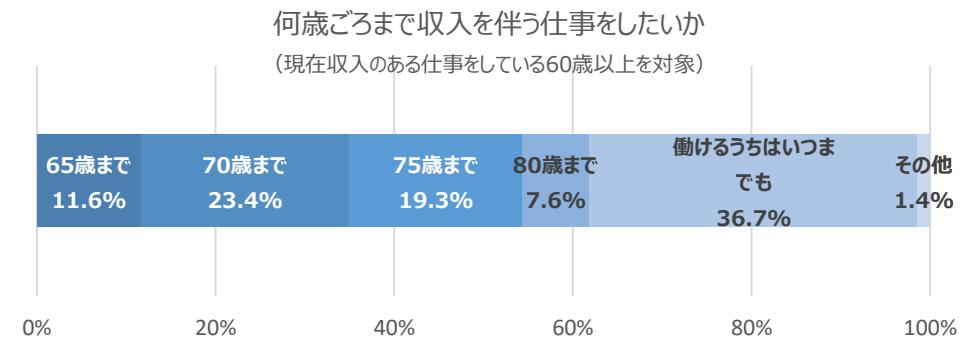
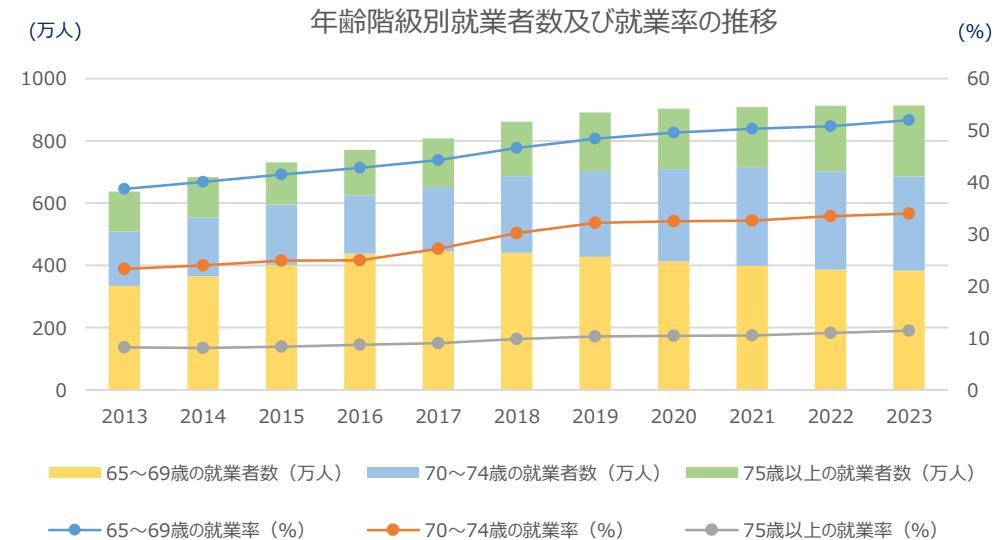
シニア労働力人口の増加

65歳以上の就業者数及び就業率は上昇傾向であり、特に65歳以上の就業者数を見ると**20年連続**で前年を上回っている。

また、就業率については10年前の2013年と比較して65～69歳で**13.3**ポイント、70～74歳で**10.7**ポイント、75歳以上で**3.2**ポイントそれぞれ伸びている。

シニアの高い就労意欲

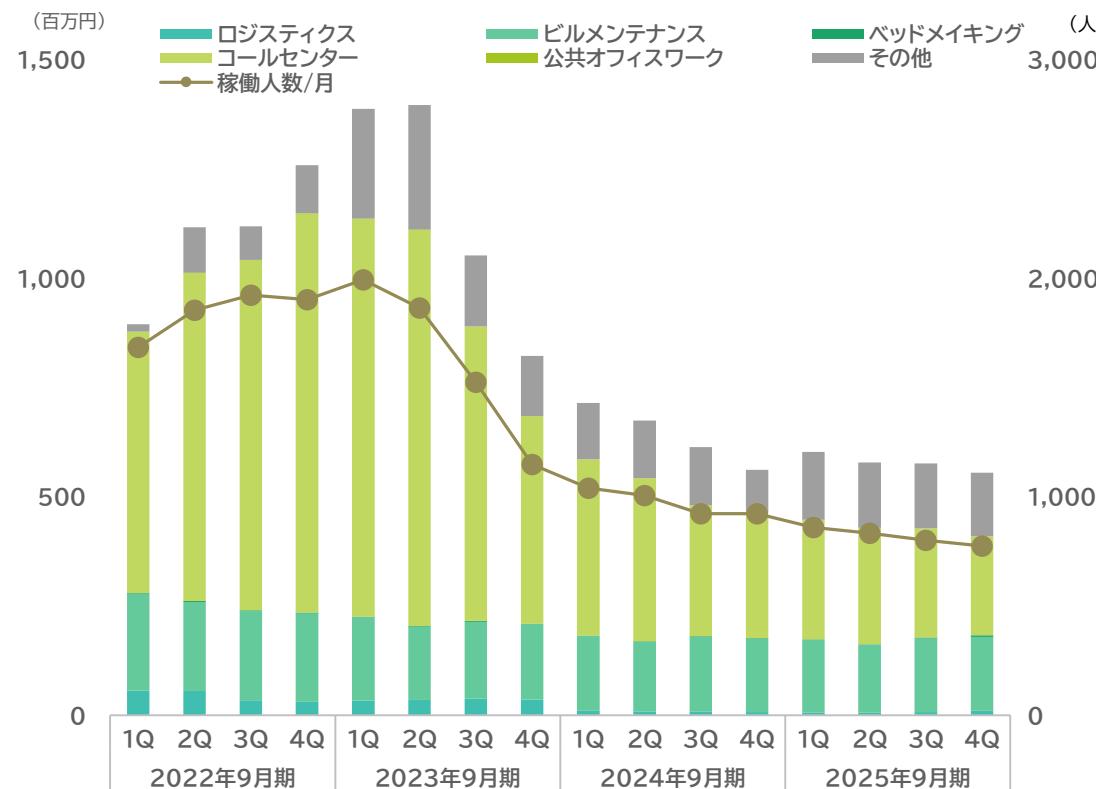
現在仕事をしている高齢者の約4割が「働けるうちはいつまでも」働きたいと回答。70歳くらいまでもしくはそれ以上の回答と合計すれば、約9割が高齢期にも高い就業意欲を持っている様子がうかがえる。



シニアワーク事業②



2025年9月期売上高:2,313百万円 (前期実績2,565百万円:前期比90.2%)



全国拠点数 : 8拠点 (2025年9月末現在)

出店コンセプト:派遣先業種の特性上、基本的に都市圏に出店。

業種区分	業務内容
請負・業務委託	オフィスワーク・コールセンターの委託・BPOサービス等
ロジスティクス	ピッキング仕分、梱包等の物流倉庫内軽作業や工場内軽作業等
ビルメンテナンス	オフィスビル、マンション、商業施設等の清掃管理、設備管理、軽作業等
ベッドメイキング	宿泊施設のベッドメイキングや客室清掃等
コールセンター	電話での受発信及びそれに付随するデータ入力及び事務作業、企業での事務作業等
公共オフィスワーク	官公庁でのデータ入力、書類整理、管理等

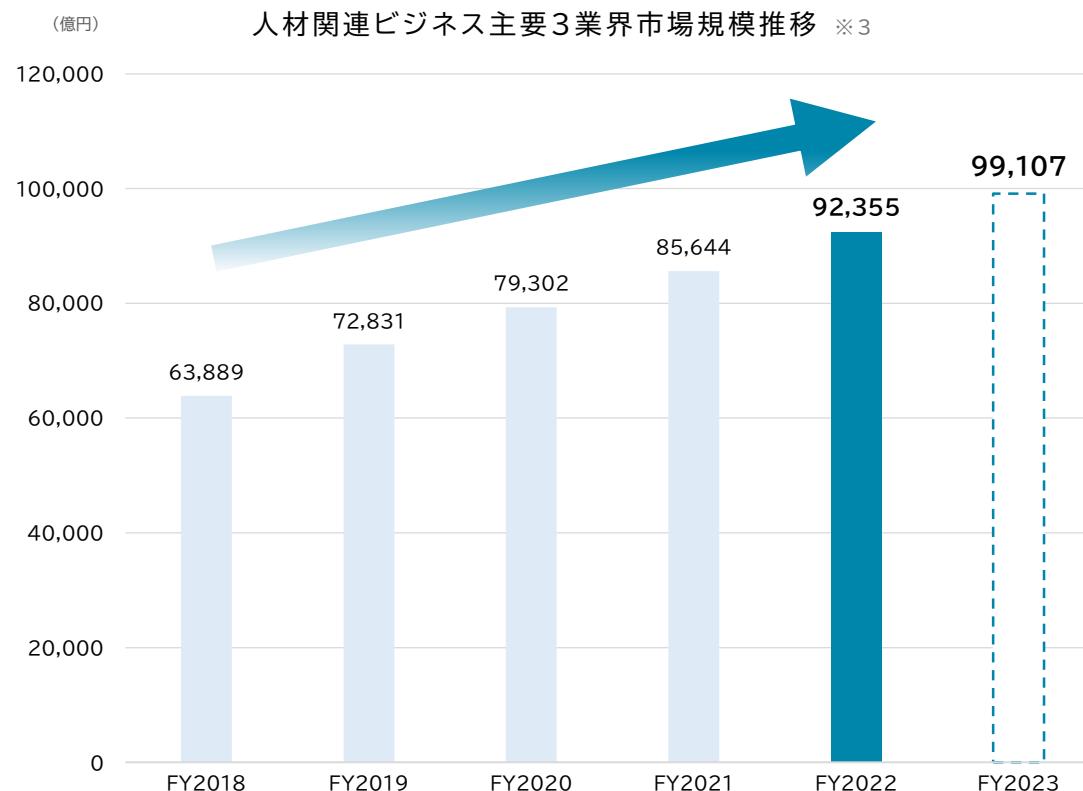
目次

- 01 | 会社概要
- 02 | 事業内容
- 03 | 当社ビジネスを取り巻く環境**
- 04 | 当社の特徴と優位性
- 05 | 財務情報
- 06 | 成長戦略と進捗状況
- 07 | リスク情報

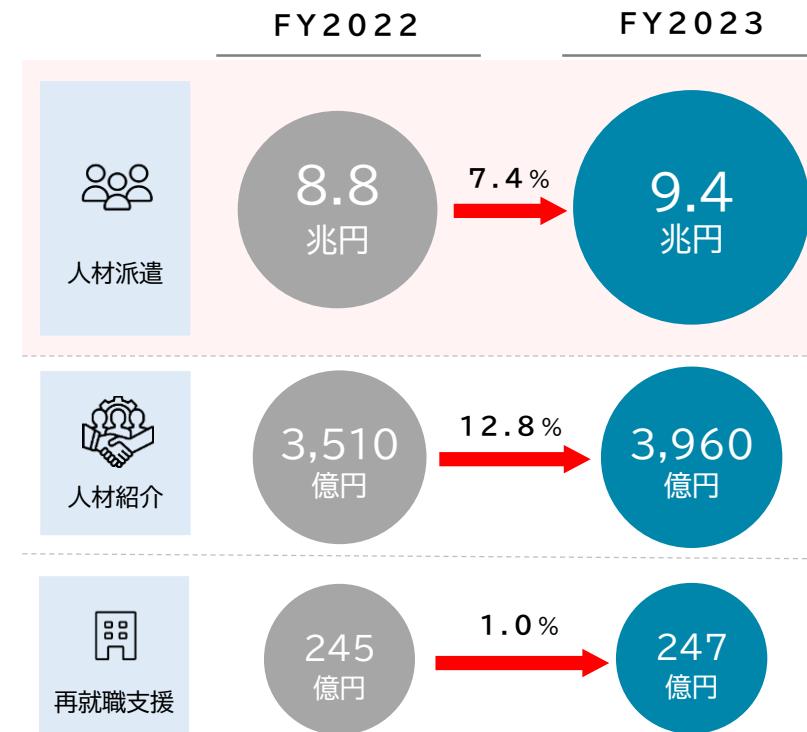
人材ビジネス市場規模

FY2022の人材関連ビジネス(主要3業界※2)の市場規模は、約**9.2兆円**。増減率**+7.6%**

ウクライナ情勢や円安などの外的要因があるものの、人材派遣市場は人材ニーズは高く、幅広い業界で需要があり堅調な推移



人材サービスの規模は圧倒的に**人材派遣市場が最大**



※1 出展：株式会社矢野経済研究所「2023年版 人材ビジネスの現状と展望」

※2 オフィスワークを中心とした人材派遣事業者、ホワイトカラー職種の人材紹介事業者、再就職支援事業者の3業界

※3 事業者売上高ベース

日本の人手不足状況

2030年、
人手不足は**644**万人に広がる

「2024年問題」※1がスタート、直近では「2025年問題」※2が控えており、人材確保が、今まで以上に企業にとって最重要課題となっている

644万人の人手不足を埋めるための労働供給方法

- ・アクティブシニアの労働力の増加
- ・女性の労働力を増加
- ・外国人の労働力の増加

キャリアの強み＝アクティブシニア領域

2030年予想



人手不足倒産推移



※1 2024年4月1日以降、建設、運輸、医療に対して例外的に認められていた時間外労働の上限規制の猶予が終了することから発生する諸問題

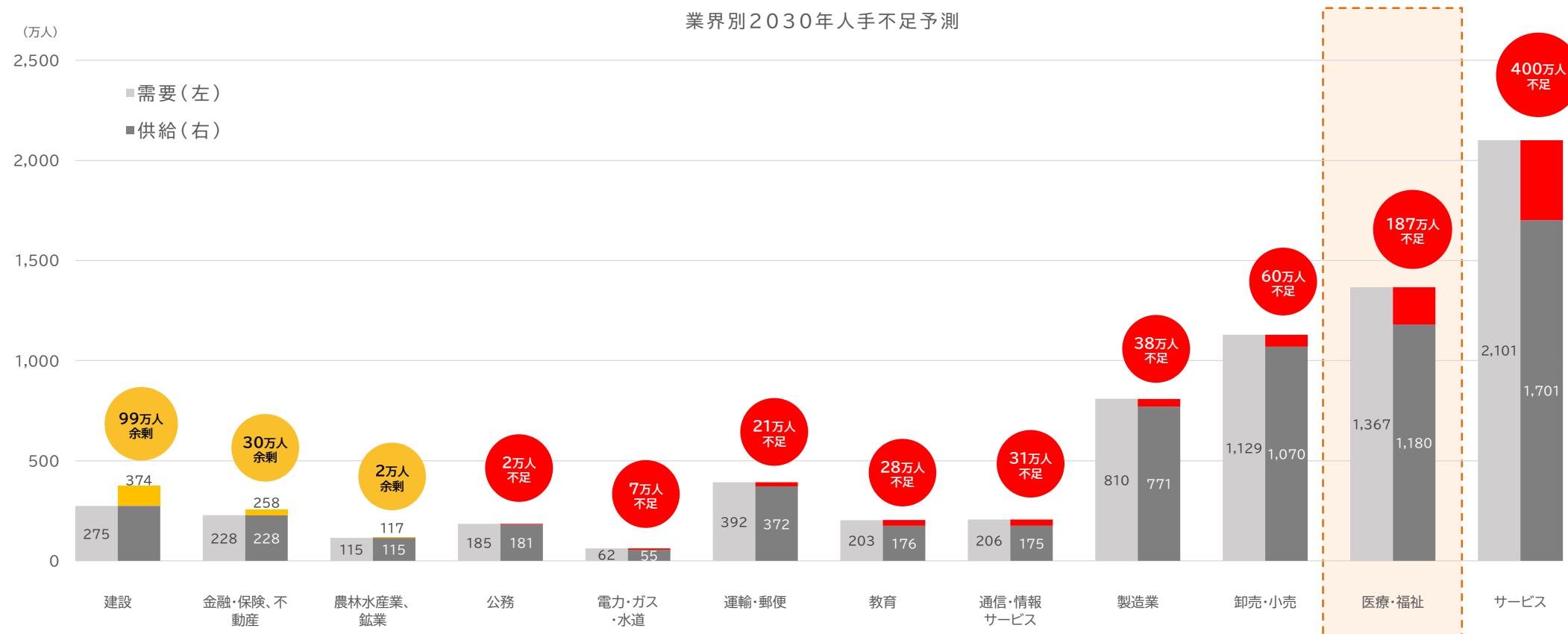
※2 日本の人口の年齢別比率が劇的に変化して「超高齢化社会」となり、社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが予想されること

※3 出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

2030年の人手不足の展望

サービス業は離職率が高いこともあり、約400万人と大きな人手不足が見込まれる

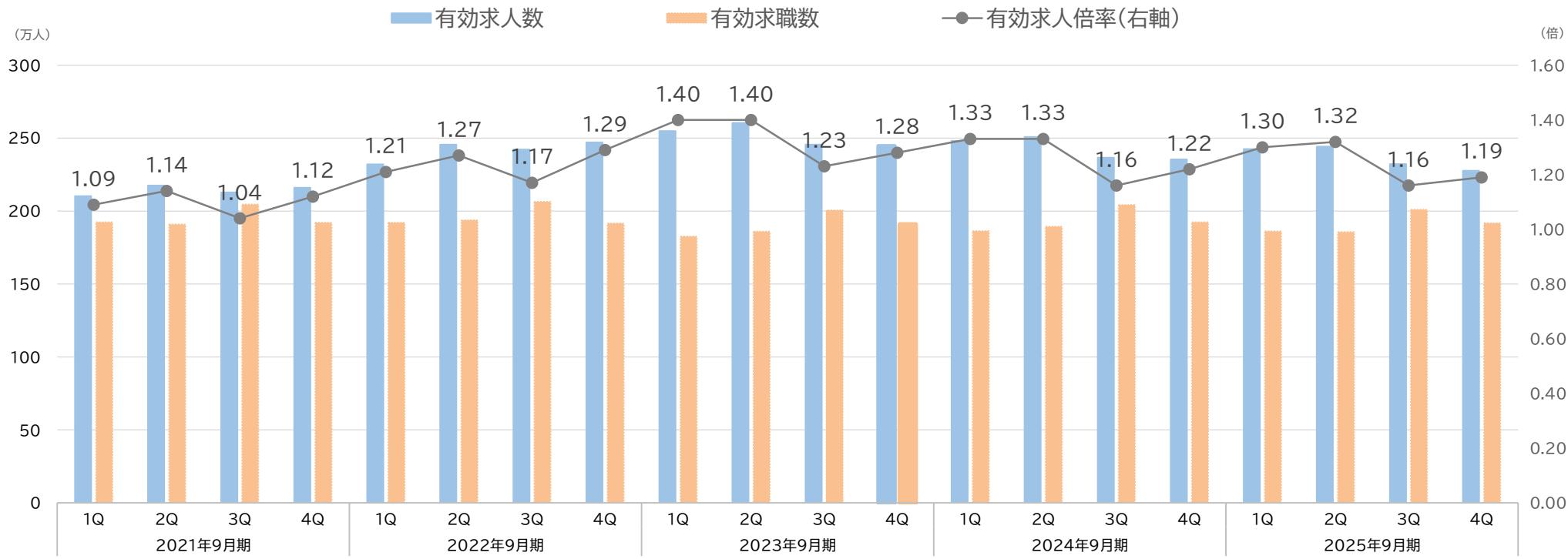
当社のシニアケア事業における領域である医療・福祉も、サービス業に次いで人手不足に苦しむ、約187万人にのぼる



※1 出展：出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

有効求人倍率の推移

2025年7月～9月の3カ月平均の有効求人倍率は1.19倍で、直近3カ月平均は0.03ポイント上昇
人手不足の状況は続くものの、原材料、光熱費の高騰により、企業は採用に慎重



※1 総務省統計局「労働力調査」を元に株式会社キャリアにて作成

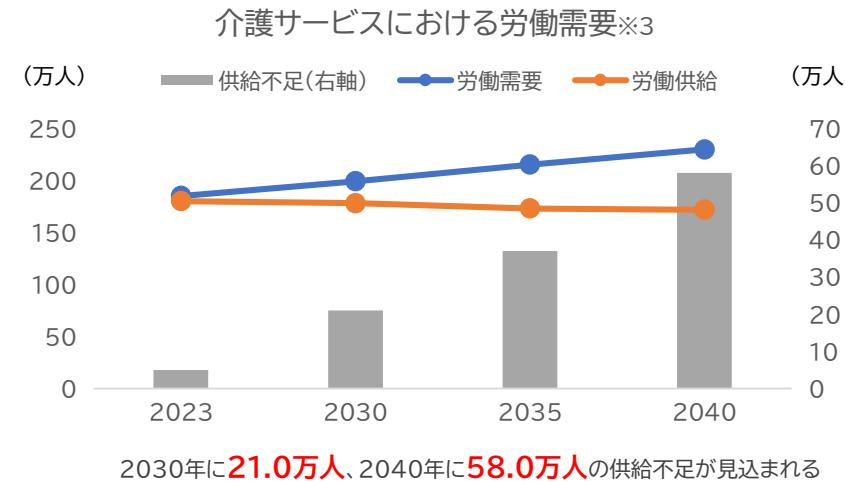
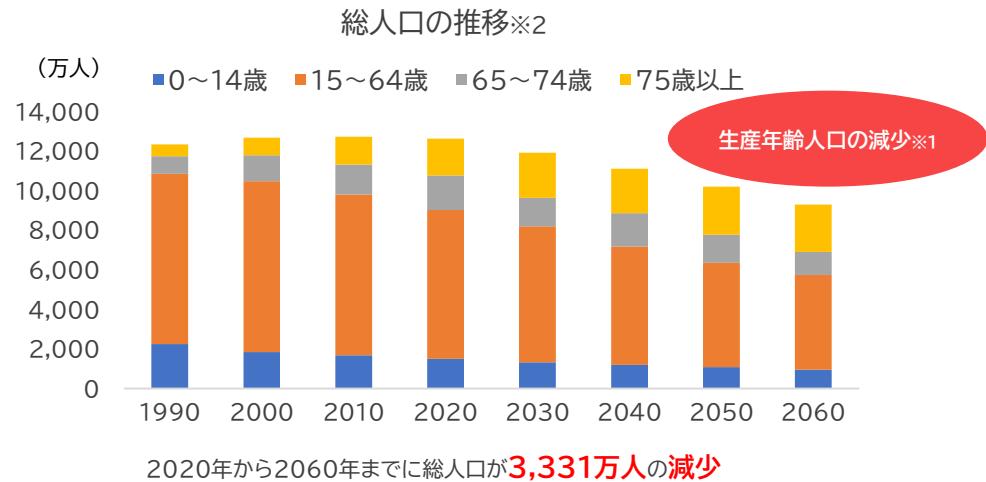
※2 厚生労働省「労働者派遣事業報告書」を元に株式会社キャリアにて作成

目次

- 01 | 会社概要
- 02 | 事業内容
- 03 | 当社ビジネスを取り巻く環境
- 04 | 当社の特徴と優位性**
- 05 | 財務情報
- 06 | 成長戦略と進捗状況
- 07 | リスク情報

当社の特徴と優位性①

日本では高齢化社会が進行しており、人材市場においては、労働人口の減少、介護市場での人手不足は大きな課題となっている。



CAREERは、この2つの課題に人材サービスで応える**高齢化社会型人材サービス企業**

※1: 生産活動を中心となって支える15~64歳の人口のこと

※2: 内閣府(2022)「令和4年版高齢社会白書」を元に株式会社キャリアにて作成

※3: リクルートワークス研究所「未来予測2040」を参照。

当社の特徴と優位性②

高齢化率は2015年から2025年(予測)までに**3.0 pt**が**急増**しているのに対し、65歳以上人口を15～64歳人口で支える割合は**3.0 pt急減**している。

一方、高齢者の就業率は年々增加傾向にある。

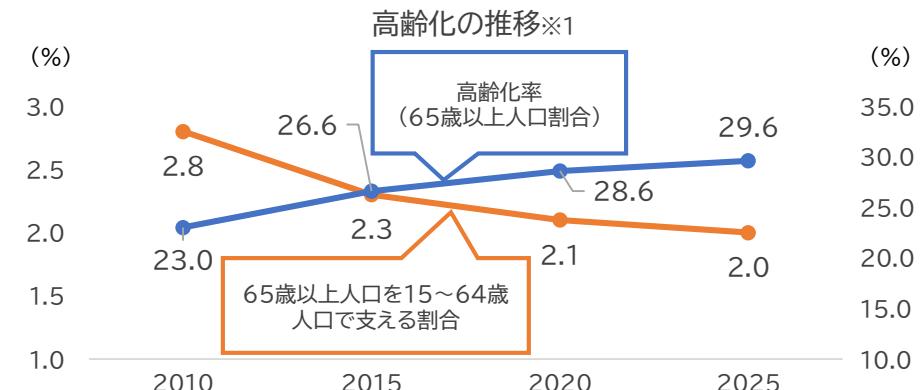
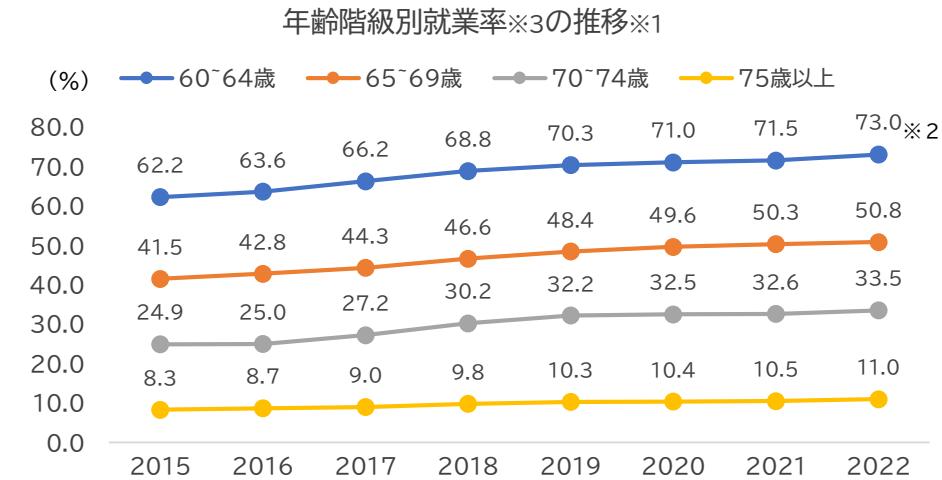
各種人材企業を介してのシニア就労、介護施設への人材供給は市場成長とともに増えているが、未だシニア市場を専門とするピックプレイヤーは出てきていない状況は続いている。

当社はシニア就労のノウハウを活用し、
高齢社会型人材マーケットの
第一線で新しい働き方を追求し続けている。

※1:内閣府「令和5年版高齢社会白書」を参照

※2:年平均の差

※3:「就業率」とは、15歳以上人口に占める就業者の割合をいう。



目次

- 01 | 会社概要
- 02 | 事業内容
- 03 | 当社ビジネスを取り巻く環境
- 04 | 当社の特徴と優位性
- 05 | 財務情報**
- 06 | 成長戦略と進捗状況
- 07 | リスク情報

2025年9月期 連結業績推移

売上高

14,935 百万円

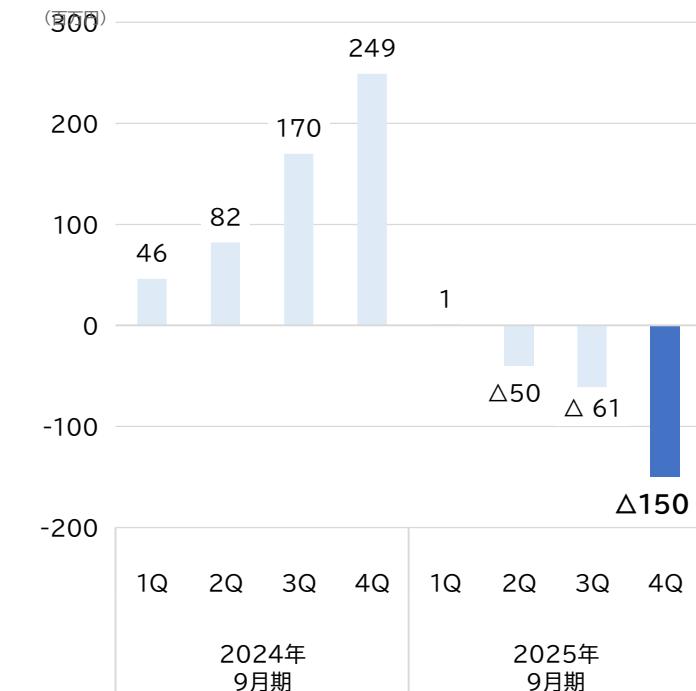
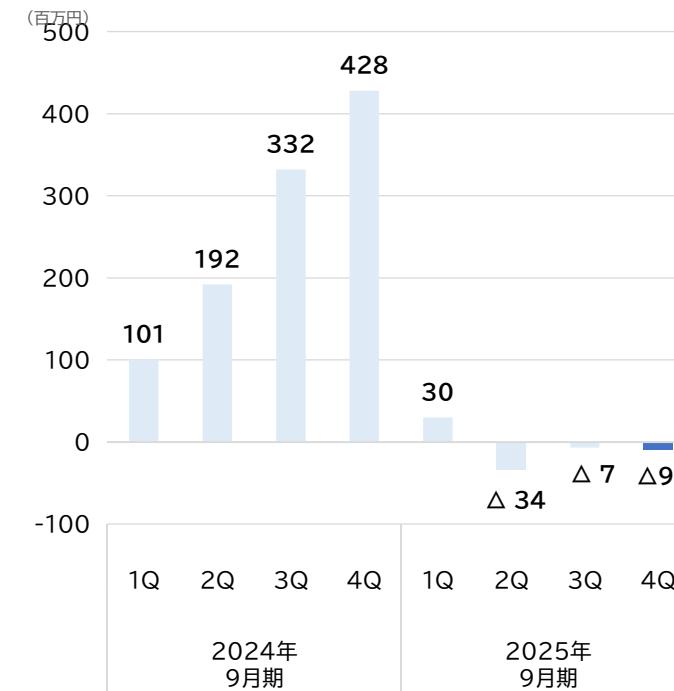
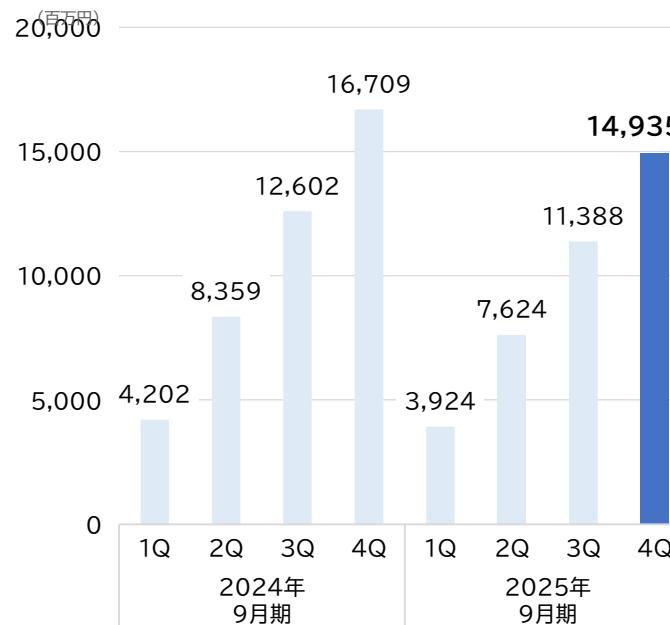
前年同期比 89.6 %

営業利益

△9 百万円

親会社株主に
帰属する当期純利益

△150 百万円



2025年9月期 連結通期予想に対する進捗

下期以降、事業収益面では改善施策の効果が出始めたものの、来期の先行投資までは吸収しきれず

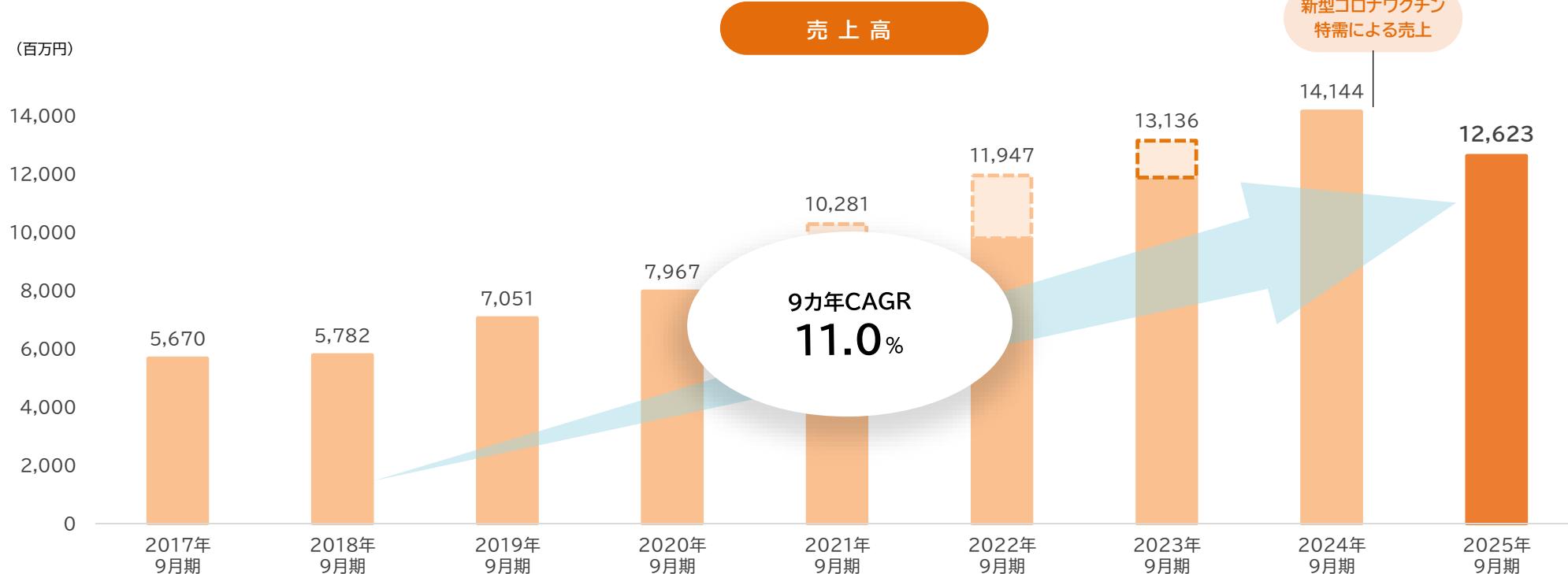
(百万円)

	2024年9月期	2025年9月期			
	実績	実績	前期比(%)	修正業績予想 (2025/6/26公表)	達成率(%)
売 上 高	16,709	14,935	89.4%	15,660	95.4%
シニアケア事業	14,144	12,622	89.2%	—	—
シニアワーク事業	2,565	2,313	90.2%	—	—
営 業 利 益	428	△9	—	80	—
経 常 利 益	399	△22	—	55	—
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	249	△150	—	5	—
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	29.37円	△17.66円		0.59円	

2025年9月期 シニアケア事業



介護報酬改定による訪問介護事業所の基本報酬引き下げの影響から、価格転嫁要請の厳しい状況は継続
4Q以降は子会社の合併により、営業体制の強化を図る



2025年9月期 シニアワーク事業



主要売上の国内のコールセンターサービス市場規模は減少傾向
単価交渉を行うことにより収益性を向上させつつ
好調なブルーカラー職種派遣へ人的リソースを投入し上昇を図る



2026年9月期 連結業績予想

スポット医療系人材ニーズへの対応強化や経済産業省のリスクリング事業の戦略的推進、
 インバウンド需要に対応する分野や障がい者雇用支援サービスの加速により増収を見込む
 来期は増収計画も収益構造のアップデート完了を下期に見込んでいるため、通期での利益貢献はFY27以降を想定

(百万円)

	2025年9月期		2026年9月期	
	実績(A)	業績予想(B)	増減額(B-A)	前期比(%)
売 上 高	14,935	16,360	1,425	109.5%
営 業 利 益	△9	40	49	—
経 常 利 益	△22	20	42	—
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	△150	△10	140	—
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	△17.66円	—		

目次

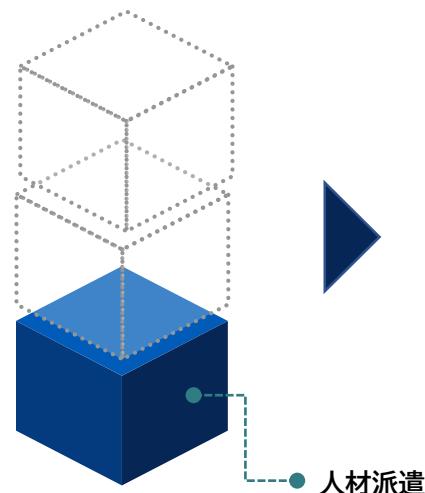
- 01 | 会社概要
- 02 | 事業内容
- 03 | 当社ビジネスを取り巻く環境
- 04 | 当社の特徴と優位性
- 05 | 財務情報
- 06 | 成長戦略と進捗状況
- 07 | リスク情報

売上高成長の基本方針

自社の強みである介護・看護領域をスケールアップ

既存の人材派遣事業

ソリューションの拡大



主軸となる人材派遣だけでなく、人材紹介の提供も拡大させ、領域を広げていくことでシェア獲得を図る

新規領域

各カテゴリーにおいてNo1を目指す

新規事業

リスクリング領域

アクティブシニア領域

エッセンシャル
ワーカー領域

成長戦略と進捗状況(シニアワーク事業)



既存人材事業のスケールを推進するとともに、新規事業を確実に伸長



既存事業の積み上げ

人材派遣



- ▶ コールセンター、ビルメンテナンスの既存事業をターゲット
- ▶ 新規出店や組織変更による営業力強化



利益率向上

業務委託・請負



- ▶ オフィス・コールセンターのBPO事業の拡大
- ▶ 空港・製造など、新規分野へ参入し請負への移行促進



新規事業の収益化

障がい者雇用支援



- ▶ 子会社ウェルネスキャリアサポートの障がい者雇用支援サービスの拡大。第2FARMの構築
- ▶ 法定雇用率UPに伴う需要取り込み

■進捗

- ・ 必要に応じてコスト削減のために支店を統合することで機動力を確保し、市場リサーチして新規出店することで営業力を拡大。順調に既存事業を積み上げしたことで、増収増益。
- ・ 新型コロナ第5類移行により、インバウンド需要が急激に戻ってきており、この流れが参入した空港や製造関連派遣の追い風となり、売上貢献に寄与。
- ・ 障がい者雇用支援サービスの取引社数は順調に増加しており、第1FARMはほぼ満床。期中で損益分岐点を超えて黒字化、早々に第2FARMの構築を目指す。

成長戦略と進捗状況(シニアケア事業①)



医療介護の人材不足の解消につながる既存事業以外の多様な働き方の提案

人材紹介事業の拡大



人材紹介を行い、直接雇用による継続的な雇用を増加

訪問介護・訪問看護事業



人材派遣業、人材紹介業以外の展開として事業所を開設

常用雇用型派遣事業



人材を常に確保できるよう、未経験者を常時雇用し、育成

医療介護福祉向け求人サイト事業



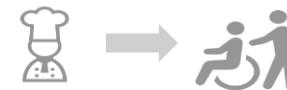
直接雇用の求人サイトを運営。広告掲載料としての収入を確保

短期人材ニーズのマッチングシステム開発



緊急のニーズに対し、企業と求職者が直接マッチングできるプラットフォームの構築

特定技能外国人人材の活用



縮小する飲食業界の外国人ニーズに対し、介護の特定技能切り替えのサポート

医療介護現場で働きやすくするための保育士確保事業



医療介護現場の主力として活躍する女性が育児をしながら働きやすくなるため、保育士を確保

Indeed代理店採用広告事業



Indeedの正規代理店として、採用広告のプラットフォーム事業・コンサルティング事業を実施

■進捗

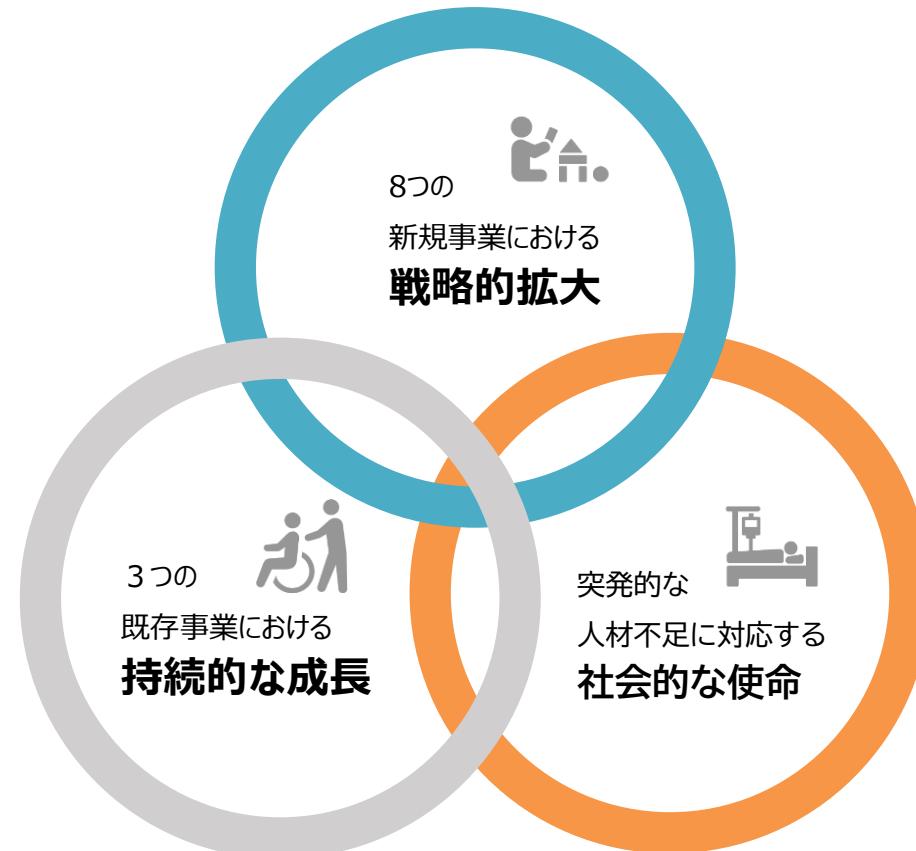
- 高齢化社会が進む日本において、看護師及び介護士の需要が更に高まり、蓄積したマッチングのノウハウを活かし、求人媒体の広告掲載、採用代行を行い、採用のミスマッチをなくすことで人材の定着率を図ることで、大幅增收増益。
- 施設内保育事業を持たない介護施設に待機児童を抱える母親の派遣を実現する保育士確保事業と受入保育園確保を継続的に取り組み。

成長戦略と進捗状況(シニアケア事業②)



CAREERでは医療介護の人材不足の解消、社会問題の解決を通し、戦略的に事業を拡大

8つの新規事業における戦略的拡大を行いながら、
新型コロナウイルスのパンデミックのような
突発的な医療・介護人材の不足発生時においても、
**社会的な使命をもち、即時に対応していくける
体制の構築を準備。**



新規事業「キャリアスマイルケアカレッジ」



キャリア相談、リスクリング、
転職まで一貫してサポート

介護職に特化した全国最大規模の
資格取得・転職支援サービス



受講料の**最大全額**を
受講者に還元※2

※1 社会環境や働く環境の変化にあわせて今後、仕事に必要とされるスキルを習得する行為

※2 講座終了発行後50%キャッシュバック(※講座の受講費用の1/2相当額(上限40万円))

(※キャリア経由で転職後、1年間継続的に就業している方20%キャッシュバック

(※追加的に講座の受講費用の1/5相当額(上限16万円))

上記を含め、指定の条件を満たした方、残り全額を(※キャリアからキャッシュバック



新規事業「(株)ウェルネスキャリアサポート「第2farm稼働」

野菜の提供を通じた福利厚生の充実から

SDGs・ダイバーシティ推進

第2Farm 2027年9月期

満床60ユニット達成を目指す



〈2026年9月期〉 40ユニット達成

売上高:183百万円

売上総利益:48百万円

〈2027年9月期〉 満床達成

売上高:303百万円

売上総利益:124百万円



第1Farm

ウェルネス Mirai Farm TOKYO隅田

- ・2021年10月稼働開始
- ・完全屋内型植物工場
- ・34ユニット、就労可能人数100人

24年10月プレ開設

先行4件 申込済



第2Farm

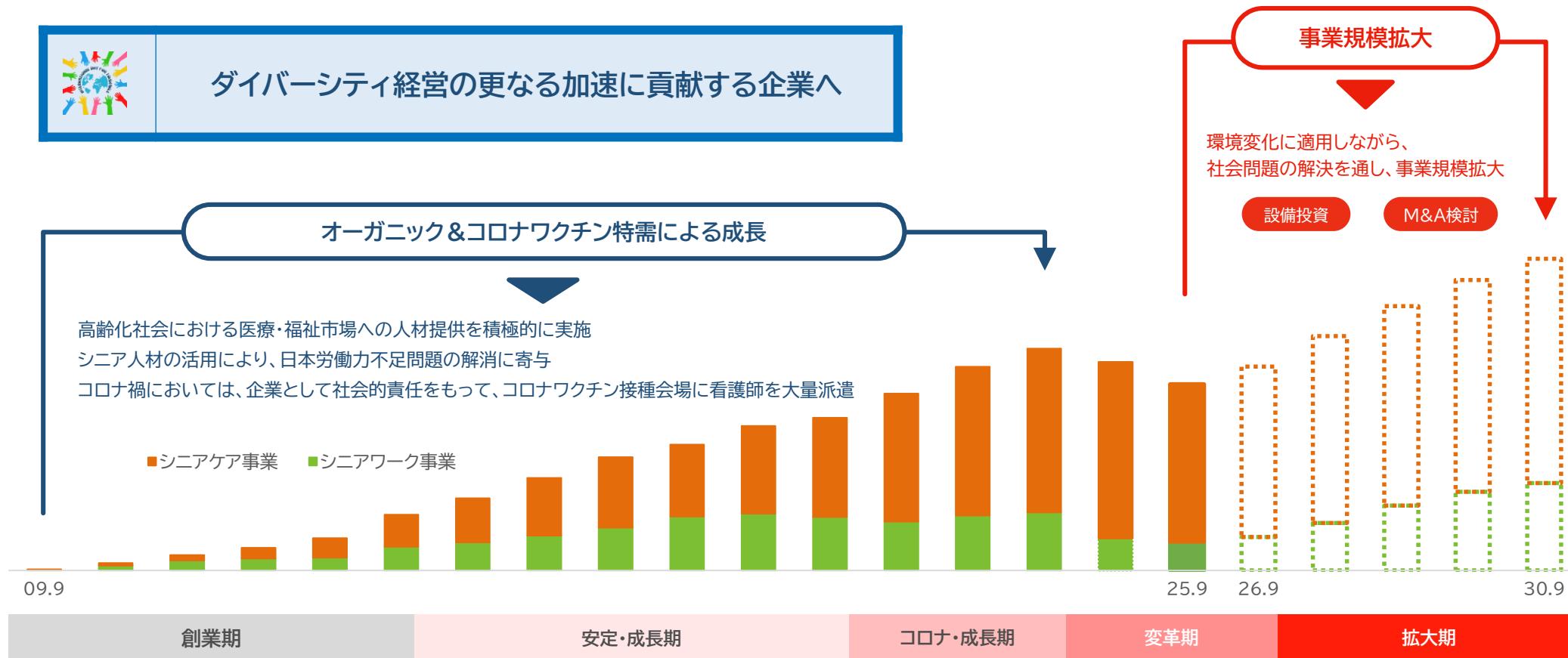
ウェルネス Mirai Farm & Office 品川（仮）

- ・2024年10月プレ稼働開始
- ・完全屋内型植物工場+ワークオフィス
- ・60ユニット、就労可能人数180人

※ウェルネス Mirai Farm & Office 品川（仮）は本格稼働後、ウェルネス Mirai Farm 品川Officeと名称を変更しております。

売上高の成長イメージ

オーガニック(既存サービス)売上をベースに、挑戦を繰り返すことで新たなストックサービスを拡充させ、成長し続ける。



目次

- 01 | 会社概要
- 02 | 事業内容
- 03 | 当社ビジネスを取り巻く環境
- 04 | 当社の特徴と優位性
- 05 | 財務情報
- 06 | 成長戦略と進捗状況
- 07 | リスク情報

リスク情報 －認識するリスク及び対応策－

事業計画の遂行に重要な影響を与えるリスクと認識しているものは以下の通りです。
その他のリスクは有価証券報告書の「事業等のリスク」を参照ください。

主要リスクとその概要

対応策

スタッフの確保について

競合他社と比較して当社グループの信用力、ブランド力が低下した場合、優良なシニアスタッフ及び看護師、介護士等のスタッフ確保が困難若しくは非効率になるリスク

顕在化の可能性:大、時期:長、影響度:大

当社グループのブランド力の向上、自社媒体の開発等で採用力を向上させるように努めています。

コンプライアンスについて

許可の取り消し又は業務の停止等の処分を受けるリスク。各種法令等が経済環境・社会環境の変化に応じて改正されるリスク

顕在化の可能性:中、時期:中長、影響度:大

顧問弁護士と連携の上、法的改正の動向に注視し、臨機応変に対応できる体制を取っています。

市場環境の変化について

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に市場環境の悪化ならびに既存顧客の人材需要の減退するリスク。

顕在化の可能性:中、時期:中長、影響度:大

新規派遣業種の開拓や、事業ドメインに関連するサービス等を展開することで、リスク低減に努めています。

将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」の開示時期は、2026年12月を予定しております。

お問い合わせ先

株式会社キャリア IR担当

E-mail

ir@careergift.co.jp

IRサイト

<https://www.careergift.co.jp/ir/>